

平成29年12月 データから見た業界の動き

■ 概 況

平成29年12月の山梨県内の全業種のD I 値は、前年同月比で、売上高は10ポイント収益状況は8ポイント悪化した。景況感は2ポイント改善しているが、マイナスの中での動きのため、景気の回復感は感じられない結果となった。

前月比で比較すると売上高は24ポイント、収益状況は4ポイント、景況感は6ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I 値において、製造業における前年同月と比べると、受注の減少から、売上高は15ポイント悪化した。さらに原材料等の価格上昇を売価に転嫁しきれていない状況を顕しているものと考えられ、収益状況も20ポイント悪化する結果となった。景況感は一般機器業界が好調で製造業として5ポイント改善した。

一方で、非製造業においては建設業の公共工事の減少、サービス業では年末の曜日の並びが悪く集客が少なかったことが影響し、非製造全体で前年同月比から売上高が7ポイント悪化した。

天候不順による農作物の仕入れや材料価格の高騰、元請けからのコストダウン要請など適正価格での取引が行われていない報告があった。また人材確保は多くの業種で課題であり、人材育成と加えて業種・業界を存続させるための対策が重要であると考えている。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製 造 業

食料品（水産物加工）	ギフトは低調。おせち、業務用、原料売りが好調であったが全体での売上は前年同月比で99.3%。
食料品（洋菓子製造）	自社製品の売上は専門店向けが減少したが。量販店向け及び輸出向けが好調で109.5%。OEMは焼き菓子、冷凍ケーキが好調108.3%。全体の売上は前年同月比109%と伸長した。
食料品（パン・菓子製造業）	9月から年末にかけては繁忙期だが、人材確保が課題。外国人派遣労働者に頼っている。
繊維・同製品（アパレル）	自社ブランドのある製造販売業者に比べ、下請加工業者の受注は安定せず厳しい状況である。
家具製造	木材全体が値上がりの傾向のため、材料の仕入単価の値上げ要請があり、販売価格の見直しを検討していく。
窯業・土石（砂利）	仕事量が増加し、需要の高まりから骨材が不足気味。
窯業・土石（山碎石）	製品出荷量の減少に歯止めがかからない。本来であれば需要が高まる時期だが先行き不透明。リニア中央新幹線の工事や関連の公共工事が始まるまでは、見通しは暗い。

一般機器	機械部品の需要の高まりから工場拡張工事の動きがある。
電気機器	航空機新規受注が思わしくない状況。毎年のようにコストダウンの要請があり、航空業界から離れる企業も増加している。
宝飾(貴金属)	流行に左右されるため、材料の仕入れや、手作業の手間等の、作業効率に影響を与える要素が多く、収益が安定しない。

● 非製造業

卸売(紙製品)	中国への古紙類が輸入規制となり、国内の古紙在庫が増加している。
卸売(ジュエリー)	クリスマスや年末商戦向けの商品づくりが低迷。しかし、中国バイヤーの購入商品が高額商品から低額商品まで広がり、受注対応に追われる企業も出ていた。
小売(青果)	天候不順から商品が品薄で原価が高騰。売価に転嫁できず収益状況を圧迫した。価格安定が望まれる。
宿泊業	12月はもともと宿泊数は少ないが、年末の曜日の並びが悪く集客数が減少した。甲府駅南口は工事中に伴いライトアップが縮小しているように感じる。
美容業	年末はボーナス時期と重なり来店数が若干増加し売上が5%増加した。1月は例年成人の日以降の来客数の減少が予想される。
一般廃棄物処理	ゴミステーションに集積された不燃物・資源物(全部又は一部が売却可能なもの)を持ち去る者が後を絶たない。廃棄物処理法では市町村からの委託を受けた者以外の運搬等は違反であり、自治体や警察の連携した対応が望まれる。
警備業	中部横断道、リニア中央新幹線トンネル及び台風等災害復旧の公共工事の他、年末警戒警備の増大に伴う警備員の派遣要請への対応に苦慮している。全業種の有効求人倍率に対し、建設労務者や警備員の求人倍率は高く、人材の確保が極めて困難な状況である。人材確保の課題対応のため、警備員の処遇、職場環境の改善を行うが効果は出ず、現状を維持する状況が続いている。
建設業(総合)	12月の県内公共工事動向は、前年同月比で件数は6%減少しているものの、請負金額は5%増加している。今年度の累計においては件数は4%、請負金額は10%減少している。
建設業(型枠)	例年同様12月は仕事量が増加した。しかし、下請け専門工事業者にとっては人件費や材料の高騰が影響し、収益につながらなかった。また、賃金や休日といった労働環境の悪さから若手労働者の確保や定着率が低く、技術者の高齢化が進み仕事効率が落ちている。今後は外国人実習生等に頼らざるを得ない企業が増えてくると考えている。
建設業(鉄構)	技術者・技能者の人材が不足している。民間の店舗や物流施設の増設工事等県内景気も持ち直しを感じさせるが、依然として受注は首都圏などの県外物件に依存する傾向が続いている。
設備工事(電気工事)	廃業による組合員の脱退が増加している。組合としては業界維持のため、組合員企業の人材確保定着や、組合への新規加入者の取り組みが求められる。

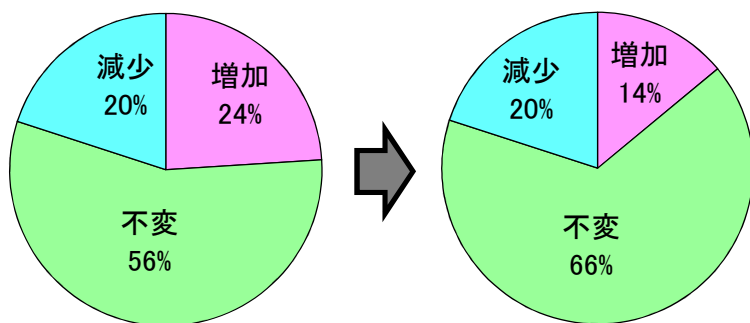
設備工事（管設備）	若手労働者の確保や定着、熟練技術者の維持・承継が課題である。公共事業及び一般住宅工事の減少が影響し売上は27.6%悪化した。
運輸（タクシー）	企業の忘年会によるタクシー利用者の増加は期待が外れ、売上は3%減少。ドライバーの高齢化が進み夜勤対応が難しい。
運輸（バス）	ドライバー不足が業界全体での課題。
運輸（トラック）	ドライバー不足が業界全体での課題。国土交通省による標準運送約款改定による、待機時間や荷役作業等の対価を適正に収受するため、今後は荷受けの理解と協力が求めている。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2016/12	2017/11	2017/12	2016/12	2017/11	2017/12	2016/12	2017/11	2017/12
売 上 高	10	20	-5	0	17	-7	4	18	-6
収 益 状 況	10	0	-10	-3	-3	-3	2	-2	-6
景 況 感	-5	10	0	-13	-3	-13	-10	2	-8

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I 値

売 上 高（前年同月比）

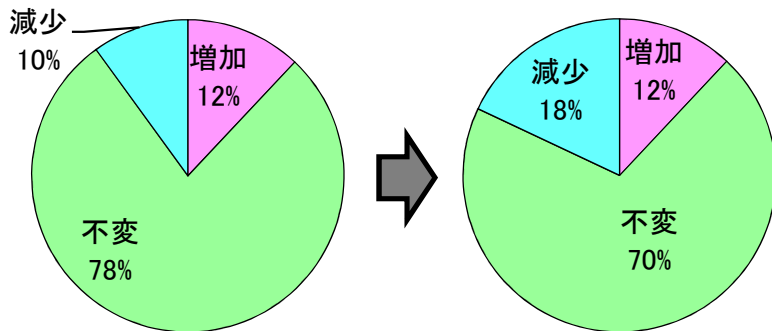


平成28年12月

平成29年12月

- ・ D I 値 ▲ 6（前年同月比▲10）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製 造 業 ▲ 5（前年同月比▲15）
 - 非製造業 ▲ 7（前年同月比▲ 7）
- ・ 前月比 D I 値
 - 製 造 業 25ポイント悪化
 - 非製造業 24ポイント悪化

収 益 状 況（前年同月比）

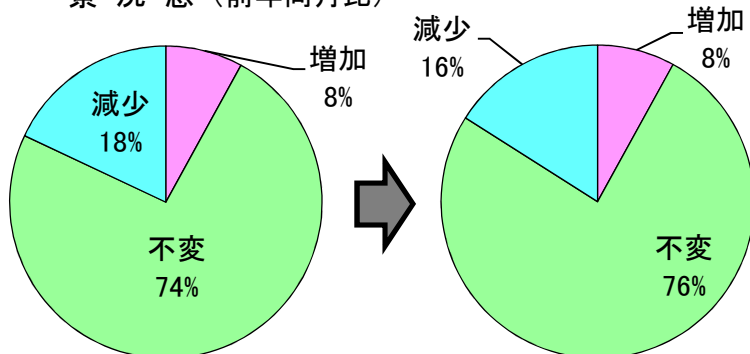


平成28年12月

平成29年12月

- ・ D I 値▲ 6（前年同月比▲ 8）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製 造 業 ▲10（前年同月比▲20）
 - 非製造業 ▲ 3（前年同月比± 0）
- ・ 前月比 D I 値
 - 製 造 業 10ポイント悪化
 - 非製造業 不変

景 況 感（前年同月比）



平成28年12月

平成29年12月

- ・ D I 値+ 2（前年同月比+10）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製 造 業 ± 0（前年同月比+ 5）
 - 非製造業 ▲13（前年同月比± 0）
- ・ 前月比 D I 値
 - 製 造 業 10ポイント悪化
 - 非製造業 10ポイント悪化